

防災力を高めよう



日本は地理的な条件などから、地震や大雨、台風などの自然災害が発生しやすい国です。今年も大雨による洪水や土砂災害、暴風雨による被害が全国各地で発生しています。

9月1日は『防災の日』。この機会に、いつ起こるか予測できない災害の発生に備えて、今、一人ひとりができる防災行動について考えてみましょう。

災害情報を入手する

災害発生時には、正確な情報をいち早く入手して、適切に行動することが大切です。

正確な情報を入手する方法を知って、いざというときに備えましょう。

【テレビ・ラジオ】

気象庁では、地震発生後の各地の震度や台風の進路予測、気象警報などをテレビやラジオなどで発表します。停電時にも、カーラジオや携帯ラジオなどから災害情報を入手できます。

【パソコン・携帯電話】

▶ 置戸町ホームページ

<http://www.town.oketo.hokkaido.jp/>

町のホームページに災害発生時における町内の被害状況、町の災害対策の状況、避難所の開設状況などを掲載します。

▶ 緊急速報メール

町から、携帯電話やスマートフォンの対応機種へ一斉に避難情報などの緊急情報をメール配信します。事前にメールアドレスなどの登録をする必要はなく、情報発信時に町内にいるだけで受信が可能です。

▶ 川の防災情報

(パソコン) <http://www.river.go.jp/>

(携帯電話) <http://i.river.go.jp/>

全国各地のリアルタイム雨量、河川の水位などの情報が掲載されています。

▶ ダムリアルタイム情報

<http://info-dam.hdb.hkd.mlit.go.jp/dam/>

鹿ノ子ダムなど道内ダムのリアルタイム情報が掲載されています。

【防災行政無線等】

▶ 防災行政無線

町内4カ所に設置した防災行政無線屋外受信機(スピーカー)から、避難情報などの緊急情報を放送します。

▶ 鹿ノ子ダム放流警報

大雨によりダムの水が放流される場合には、常呂川沿いに設置されているスピーカーからサイレンやアナウンスが流れます。

▶ 地上デジタル放送(データ放送)の河川情報

NHKテレビ放送中のデータ放送では、住んでいる地域の河川水位や雨量情報を表示させることができます。